

北部地域：国見町、瑞穂町

北部地域の緑のまちづくりの目標

○豊かな「森」を身近に感じられる地域の形成
みずほの森をはじめとした森林や草原、土黒川、有明海等の美しい水、農地や田園環境など、豊かな水と緑を守ります。また、美しい自然を身近に感じる事が出来る市民協働による水と緑のまちづくりを目指します。

○人・地域・文化がつながる 美しい水と緑の軸の形成
神代小路に代表される歴史・文化の継承、水と緑と触れ合う機会の創出、大規模公園（百花台公園等）を活かしたスポーツの振興など、地域に分布する緑の資源を活かした人の交流により、美しい水と緑の軸の形成を目指します。



北部地域の緑のまちづくりの方針

豊かな森林、草原の保全と維持・管理

街なみ環境整備等良好な景観の創出

レクリエーション・防災拠点の機能強化

公園・広場の適正配置と老朽化の改善

スポーツや文化を振興する地域づくり

市民ニーズを踏まえた水と緑のまちづくり

中部地域：吾妻町、愛野町、千々石町

中部地域の緑のまちづくりの目標

○水と緑と調和した定住環境の創出
雲仙市の玄関口、交通の要衝である愛野地域、市役所等の行政機能が立地する吾妻地域、自然や農村との共生による定住促進に取り組む千々石地域の各地域の特徴を活かした水と緑が調和した定住環境の創出を目指します。

○優れた自然や歴史を活かし、水と緑に触れ合える環境の形成
岳地区の棚田、牧場の里あづまの草原をはじめ、グリーンツーリズム等、水と緑と触れ合う機会を活かした交流環境を創出し、人・地域・文化がつながる緑のまちづくりを目指します。



中部地域の緑のまちづくりの方針

里地里山的環境の保全・管理

風致地区の見直しの検討

湧水の保全と観光資源としての活用

観光ルートとして沿道の緑の整備

水と緑に囲まれた住環境の形成

憩い・遊び・学び機能の充実

南部地域：小浜町、南串山町

南部地域の緑のまちづくりの目標

○自然と共存する、快適な住まい環境の創出
山地や丘陵地に広く分布する農地との調和を図り、温泉地における観光業など地域の産業と連携し、漁村集落、田園住宅、観光と調和した住まい環境の形成を目指します。

○温泉・海・山の資源を活かした地域の形成
日本有数の温泉地である雲仙温泉、小浜温泉、雲仙岳、国崎半島など地域特有の水と緑の資源を活かし、観光でにぎわう地域づくりを目指します。



南部地域の緑のまちづくりの方針

自然環境の保全、レクリエーションとしての活用

交通利便性に配慮した緑の適正な保全・管理

市民団体との連携強化による協働のまちづくり

都市計画公園（小浜町公園）見直しの検討

ジオサイトと連携した緑の創出やイベントの推進

段々畑の維持・保全眺望景観の保全

雲仙市緑の基本計画



緑の基本計画とは

住民にもっとも身近な自治体である市が、緑の現況や緑に対するニーズを踏まえ、独自性や創意工夫を発揮し、まちの緑のあるべき姿と、それを実現していくための方針や施策を策定するものです。

近年、地球規模での環境問題の深刻化をはじめ、少子高齢化の進展、環境や景観を重視する価値観の高まりに伴い、「緑」の役割はますます重要となっています。

そこで、雲仙市の魅力ある緑の将来像を実現するための施策を示し、市民との協働によって、緑地の適切な保全と緑化の推進を行うことを目的とした、「雲仙市緑の基本計画」を策定しました。



緑の基本計画の構成

- 目標年次 …… 平成42年
- 対象区域 …… 雲仙市全域
- 対象とする緑 …… 公園、公共緑地、民間施設緑地、法や条例等により守られる緑地 他



緑の機能

緑は「環境保全」、「レクリエーション」、「防災」、「景観形成」といった生活を豊かにする様々な効果と役割を持っています。



【環境保全機能】

大気汚染の浄化、騒音・振動緩和、省エネルギー化へ寄与、ヒートアイランド現象緩和、生物多様性確保 等



【防災機能】

延焼防止、避難路、避難場所、水源のかん養や雨水浸透による水害の未然防止、防風、防砂のための植栽 等



【レクリエーション機能】

憩い、散策、遊び、野外レクリエーションの場、軽運動、スポーツ・健康づくりの場 等



【景観機能】

自然景観構成、田園風景構成、風土に根ざした個性的な景観を生む場、都市景観へ風格を与える 等

理念と方針

基本理念

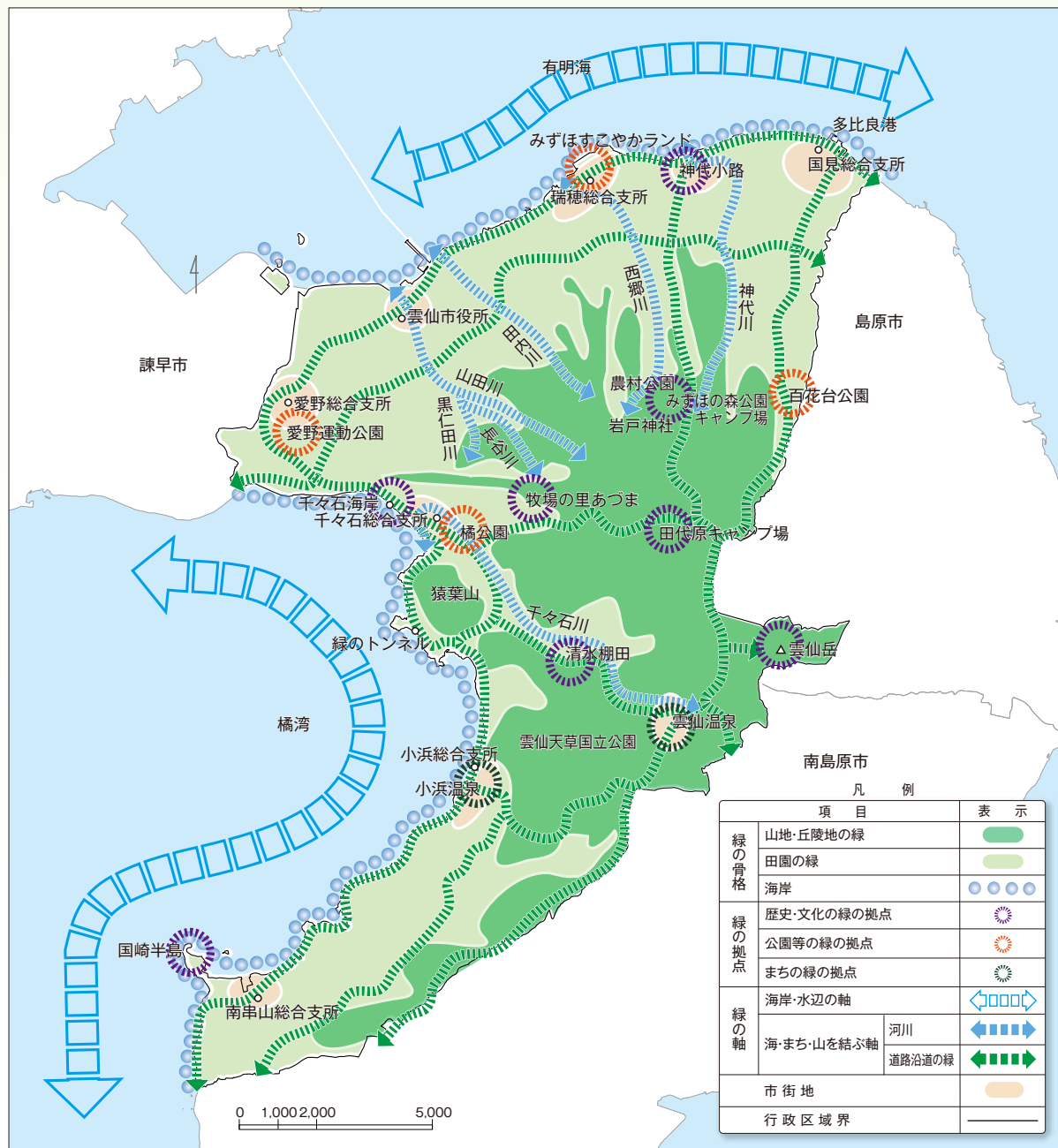
みんなで育てる きらめく水と緑のまち 雲仙

基本方針

- 快適で美しい水と緑を守り、未来へ繋がります
- 五感で楽しむ、安全・安心を支える水と緑の環境を創ります
- 水と緑に対する理解を深め、市民協働による水と緑のまちづくりを育てます

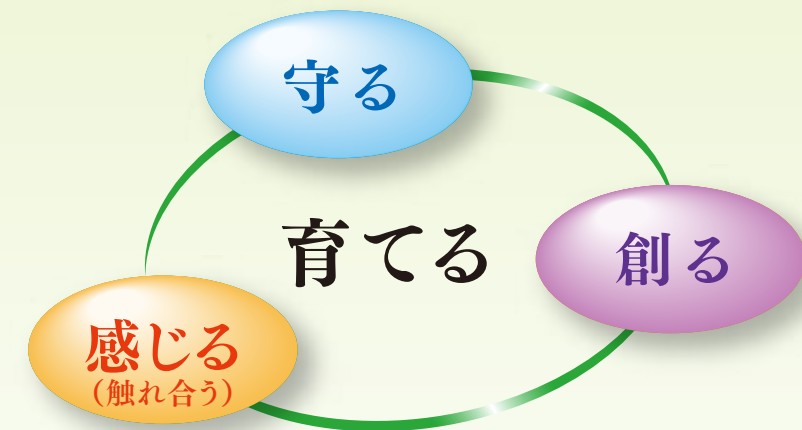
雲仙市の水と緑の将来像

基本理念に基づく水と緑のまちづくりを進めていく上で、特に重要な雲仙市の水と緑のあるべき姿を将来像として示します。



緑地保全及び緑化推進のための施策の基本体系

緑の将来像、基本方針の実現に向けて、「水と緑を“守る”施策」「水と緑を“創る”施策」「水と緑を“感じる”施策」とそれらを推進していくための「水と緑のまちづくりを“育てる”施策」の4つに分類します。



豊かな自然環境、食・癒し・文化の恵みなど、その自然がもたらす恩恵を守ります。

自然により育まれる「食」「快」「遊」等の特性を五感で楽しむ事が出来る水と緑のまちづくりを進めます。

自然を活用した観光・交流、自然と共生する豊かな住環境など、水と緑を活かした魅力を創ります。

緑を守り、創り、楽しむため、感じる場を創出し、未来へ繋ぐ連携体制を育てます。



地域別計画

地域区分にあたっては、上位計画との整合を図るため、都市計画マスタープランに位置づけられる地域別構想の「北部」「中部」「南部」の区分とします。地域別計画は、各地域の緑の現況や地域の特色などの整理を行い、雲仙市全体の緑のまちづくりの目標を踏まえながら、地域の緑のまちづくりの目標やその達成に向けた施策を示します。

